

『目指すべき姿・基本理念』の設定について（検討資料）

(1) SWOT 分析

本市産業の現状と社会経済情勢の変化における動向、さらにアンケート調査等の結果を踏まえ、SWOT 分析を行い、草津市の強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Opportunity)、脅威 (Threat) について、整理を行いました。

■草津市の産業振興に関する SWOT 分析表

	産業振興でのプラスの要因	産業振興でのマイナスの要因
草津市産業の内的能力	強み(Strength)	弱み(Weakness)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通利便性の良さ ・ 自然災害の少なさ ・ 製造業が多く集積 ・ 第2次産業の技術力の高さ ・ 小売吸引力の強さ ・ 大学等の教育機関が近接 ・ 公的インキュベーション施設が集積 ・ 情報通信業の台頭 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業用地やオフィスの供給不足 ・ 人材不足 ・ 女性の就業率が低い ・ 後継者不足・育成不足 ・ 開業率を上回る廃業率（事業継続性） ・ 地域全体として起業を促進し支援する仕組みが無い ・ 連携のマッチング力の弱さ ・ 製造業の市内の取引が少ない
草津市産業を取り巻く外部環境	機会(Opportunity)	脅威 (Threat)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国でも数少ない人口増加都市 ・ 自然の豊かさ ・ 高い住みやすさ満足度 ・ 新しい働き方の定着（テレワーク・コワーキングスペース等の普及） ・ SDGs の取組の広がり ・ 気候変動対策の動き（カーボンニュートラル） ・ デジタル技術の急速な進歩 ・ ESG の取組の広がり ・ 産学連携によるイノベーションの創出機会の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大 ・ 少子高齢化の進行 ・ 観光需要の減少 ・ 生産年齢人口の減少（労働力不足、人材獲得の競争激化） ・ 市外への事業者（起業家）の流出 ・ 草津市の認知度の低さ

SWOT 分析とは、組織のビジョンや戦略を企画立案する際に利用する現状分析の手法で、強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Opportunity)、脅威 (Threat)、これら4つの視点から、内的能力と外部環境に分けて現状分析を行い、具体的な戦略を導き出します。

(2) 産業振興を通じて目指すまちの形

SWOT 分析の結果を踏まえ、そこから見える要素を関連する項目ごとに「産業振興を通じて目指すまちの形」として、グループ分けを行いました。

まちの形①	社会の変化や課題に対応し、持続可能な事業活動が行われるまち
【関連する要素】	「気候変動対策の動き（カーボンニュートラル）」
「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」	「人材不足」
「製造業が多く集積」	「後継者不足・育成不足」
「第2次産業の技術力の高さ」	「開業率を上回る廃業率（事業継続性）」
「SDGs の取組の広がり」	「少子高齢化の進行」
「ESG の取組の広がり」	「観光需要の減少」

まちの形②	創業・起業が活発に行われ、起業家同士の交流が盛んなまち
【関連する要素】	「産業用地やオフィスの供給不足」
「大学等の教育機関が近接」	「女性の就業率が低い」
「公的インキュベーション施設が集積」	「開業率を上回る廃業率（事業継続性）」
「全国でも数少ない人口増加都市」	「地域全体として起業を促進し支援する仕組みが無い」
「新しい働き方の定着（テレワーク・コワーキングスペース等の普及）」	「市外への事業者（起業家）の流出」
「産学連携によるイノベーションの創出機会の増加」	

まちの形③	官民合同（伴走型）により中小企業等の活動が活発なまち
【関連する要素】	「開業率を上回る廃業率（事業継続性）」
「公的インキュベーション施設が集積」	「地域全体として起業を促進し支援する仕組みが無い」
「デジタル技術の急速な進歩」	「連携のマッチング力の弱さ」
「人材不足」	「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」
「後継者不足・育成不足」	

まちの形④	事業所間連携・産学官金連携により新製品・新サービス等の開発が生まれるまち
【関連する要素】	「デジタル技術の急速な進歩」
「製造業が多く集積」	「産学連携によるイノベーションの創出機会の増加」
「第2次産業の技術力の高さ」	「連携のマッチング力の弱さ」
「小売吸引力の強さ」	「製造業の市内の取引が少ない」
「大学等の教育機関が近接」	「観光需要の減少」
「公的インキュベーション施設が集積」	「草津市の認知度の低さ」
「情報通信業の台頭」	

まちの形⑤ 市内への企業集積が進み、次世代産業の育成が進んでいるまち	
【関連する要素】 「交通利便性の良さ」 「第2次産業の技術力の高さ」 「大学等の教育機関が近接」 「公的インキュベーション施設が集積」 「情報通信業の台頭」 「自然の豊かさ」 「SDGs の取組の広がり」	「気候変動対策の動き（カーボンニュートラル）」 「デジタル技術の急速な進歩」 「ESG の取組の広がり」 「産業用地やオフィスの供給不足」 「人材不足」 「製造業の市内の取引が少ない」 「少子高齢化の進行」

まちの形⑥ ITリテラシーが向上し、市内企業の育成とDX導入が進んでいるまち	
【関連する要素】 「製造業が多く集積」 「大学等の教育機関が近接」 「公的インキュベーション施設が集積」 「情報通信業の台頭」 「新しい働き方の定着（テレワーク・コワーキングスペース等の普及）」	「デジタル技術の急速な進歩」 「産学連携によるイノベーションの創出機会の増加」 「産業用地やオフィスの供給不足」 「人材不足」 「市外への事業者（起業家）の流出」

まちの形⑦ 地域資源を活かした市内産業の情報・魅力が広く発信され、域内外との交流が活発なまち	
【関連する要素】 「製造業が多く集積」 「第2次産業の技術力の高さ」 「小売吸引力の強さ」 「大学等の教育機関が近接」	「産学連携によるイノベーションの創出機会の増加」 「連携のマッチング力の弱さ」 「観光需要の減少」 「草津市の認知度の低さ」

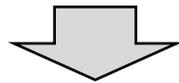
まちの形⑧ 人材が定着し、多様な働き方が進んでいるまち (住みやすく、働きやすいまち)	
【関連する要素】 「交通利便性の良さ」 「大学等の教育機関が近接」 「全国でも数少ない人口増加都市」 「自然の豊かさ」 「高い住みやすさ満足度」	「新しい働き方の定着（テレワーク・コワーキングスペース等の普及）」 「人材不足」 「女性の就業率が低い」 「少子高齢化の進行」 「生産年齢人口の減少」 「市外への事業者（起業家）の流出」

(3) 『目指すべき姿・基本理念』の設定について

これから『目指すべき姿・基本理念』を設定するにあたり、どのようなものが相応しいか、連想されるキーワードやフレーズ等の抽出・審議をお願いします。

【まちの形】

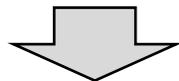
- ① 社会の変化や課題に対応し、持続可能な事業活動が行われるまち
- ② 創業・起業が活発に行われ、起業者同士の交流が盛んなまち
- ③ 官民合同（伴走型）により中小企業等の活動が活発なまち
- ④ 事業所間連携・産学官金連携により新製品・新サービス等の開発が生まれるまち
- ⑤ 市内への企業集積が進み、次世代産業の育成が進んでいるまち
- ⑥ ITリテラシーが向上し、市内企業の育成とDX導入が進んでいるまち
- ⑦ 地域資源を活かした市内産業の情報・魅力が広く発信され、域内外との交流が活発なまち
- ⑧ 人材が定着し、多様な働き方が進んでいるまち（住みやすく、働きやすいまち）



【中長期的な視点の下、草津市の産業振興の「目指すべき姿」】

（連想されるキーワード・フレーズ）

「		」	「		」	「		」
「		」	「		」	「		」
「		」	「		」	「		」



【普遍的な考え方の下、草津市が取り組む産業振興の「基本理念」】

（連想されるキーワード・フレーズ）

「		」	「		」	「		」
「		」	「		」	「		」
「		」	「		」	「		」